

令和7年度 大田区立赤松小学校 拡大学校運営協議会

第6回 議事録

日時 令和8年1月10日(土) 10時15分から11時30分まで(地域集会室)

出席者 委員：齋藤所長・林・植木・原澤・溝口・小畔・土屋・久保・川名・古谷・伊藤  
学校：飯島校長 貝山副校長

1 校長挨拶

2 今年度の教育活動のまとめ

3 学校評価説明

4 質疑応答

- ・ICT 関係の導入と教育については日本の学校制度の弊害と考えている。学校としての見解を聞きたい。→校長：個人的にはふさわしくないと考えている。重いし、目にもよくない。方針として「道具として使うように」とあり、使い方について約束なども設けている。→土屋：犯罪が多いので、気を付けてほしい。校長：学校でも、児童の方が使える子が多いので困っている。
- ・ICT 環境については、昔から気にしている。以前に、紙の方がよいとタッチ話をしたことがある。また、今日は富士山がきれい。
- ・自治会の偏り、個々の事情があり、なかなか集まれないが、今年は六中生が来て大いに盛り上がった。地域遊びも多くの種類で盛り上がった。
- ・夕方に遠回りなどをして帰ってくることもある。地域について気にするようにしている。自己評価と保護者アンケートの乖離がある。自己評価が高すぎるのではないか。→校長：学校評価の概要について説明をし、納得していただく。
- ・こどもの様子がよくわかって参考になった。子どもに対する先生の対応についていろいろ聞く。無回答の方が多くことが気になる。→校長が説明
- ・学校公開の状況を見て、「受験がある」と思った。やむを得ない。作品の掲示がきれい。書写の作品がみんな上手で驚きました。孫が地域の公園で遊んでいると、赤松の上級生と一緒に遊んでくれたと報告を孫から受けた。嬉しい。良い地域である。

- ・昨日の昔遊びについて、言葉で伝えることの難しさを感じた。先生方のご苦労がよくわかった。運営協議会の交流の時の 5 年生の姿をみて、自分たちの仕事が分かってくれたのではないかな。

- ・たくさんの子どもがいる中で、良くまとめてくれている。素晴らしい。スマホを持っている子がいる対応が難しいのではないかな。委員会などが具体的な対策を題してくれるといいですね。フライヤーズ、少しずつメンバーが増えている。

- ・学校評価の結果が素晴らしい。今までは使えなかった学校の施設を使えることがうれしい。

- ・幼稚園や保育園との連携について

- ・受験の状況について

- ・欠席の状況について

※上記 3 点について持論を展開。

- ・保護者アンケート、9 割の方の分からないという回答が気になる、など。